



参考資料3

PT実態調査の速報について

2024年8月

沖縄県土木建築部 都市計画・モノレール課

人口とトリップ数

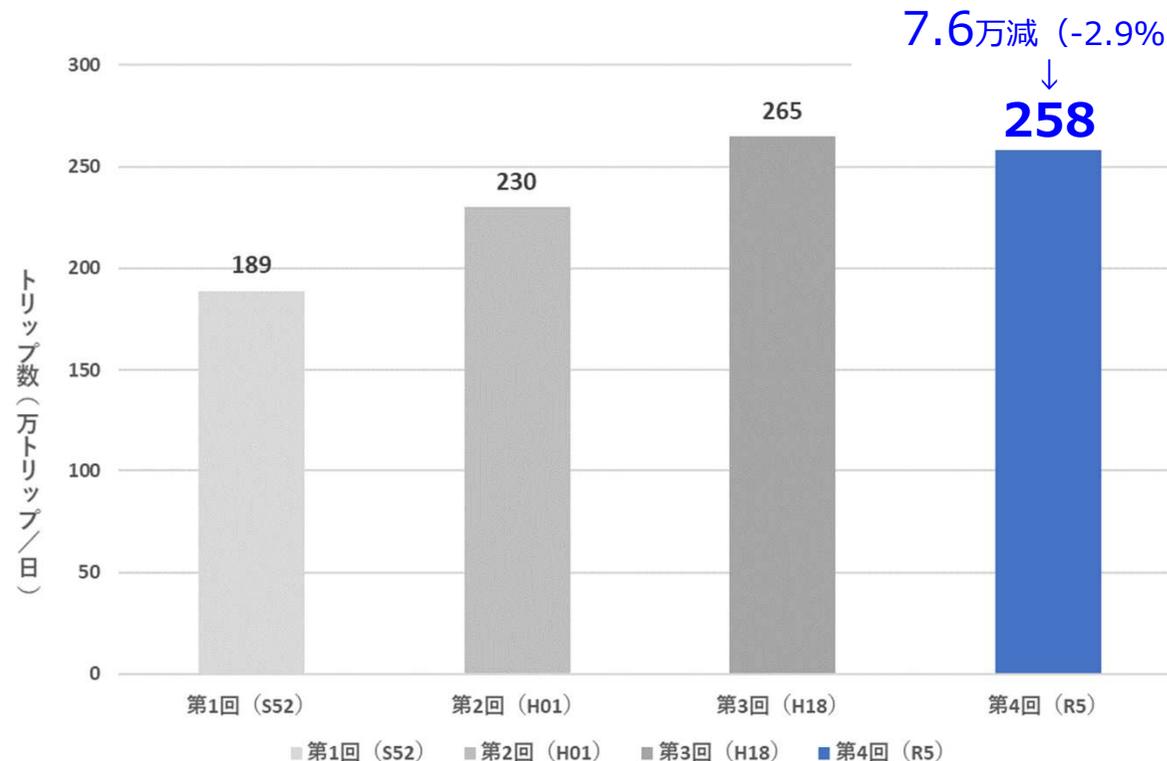


➤ 過去3回の調査では、人口・トリップ数は共に増加してきたが、今回調査では前回に比べ、**人口は約11万人（約9.9%）増加**しているのに対し、**トリップ数は約7.6万（約2.9%）減少**した。

実態調査時人口
(国勢調査ベース)



トリップ数



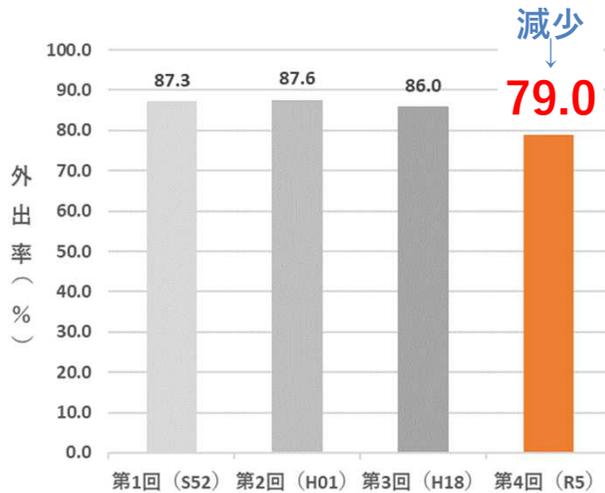
※個人票から拡大した集計値

トリップ数の傾向



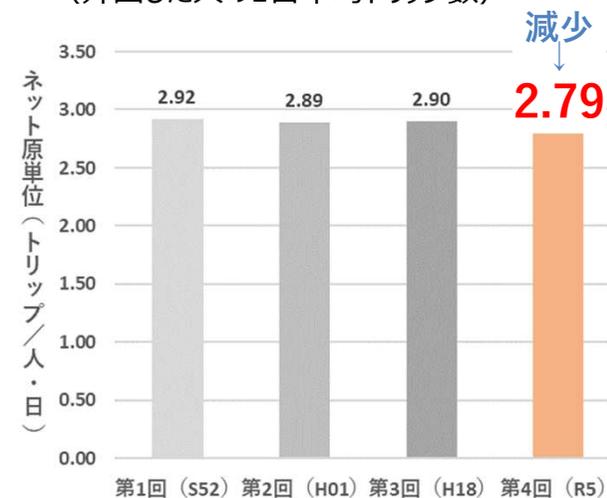
- 全体の外出率は**79.0%**となり、**過去と比較して減少している。**
- ネット原単位（外出した人の1日平均トリップ数）も**2.79**となり、**過去と比較して減少している。**
- 性別で比較すると、女性の外出率は低い一方、**外出時のトリップ数が多い。**

外出率



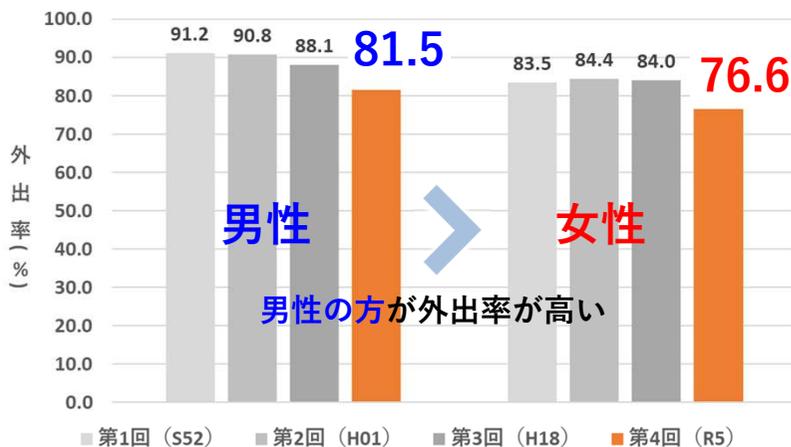
※個人票から拡大した集計値

ネット原単位 (外出した人の1日平均トリップ数)



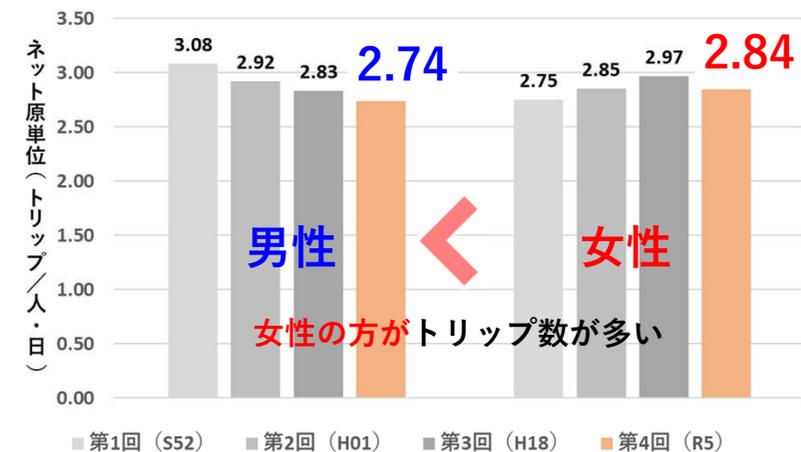
※個人票から拡大した集計値

性別比較



※個人票から拡大した集計値

性別比較



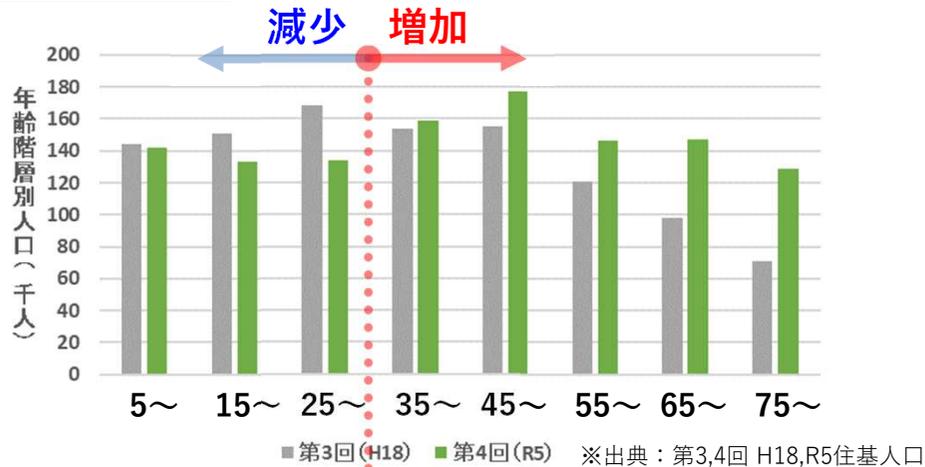
※個人票から拡大した集計値

トリップ数の傾向

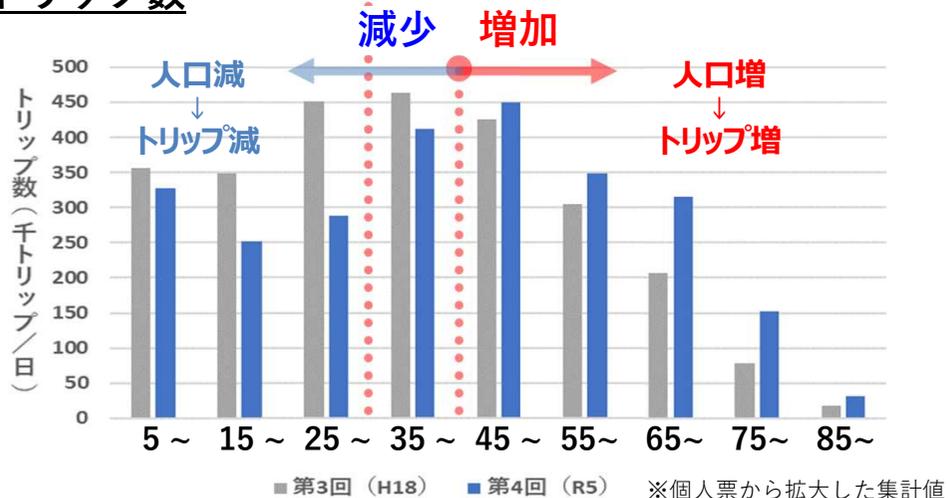


- 34歳以下 : **トリップ減** → **人口減が主因**も、外出率・ネット原単位も減少。
- 35～44歳 : **トリップ減** → 人口微増だが、**外出率・ネット原単位の減少が卓越**。
- 45歳以上 : **トリップ増** → **人口増が主因**も、ネット原単位は65歳以上で増加。

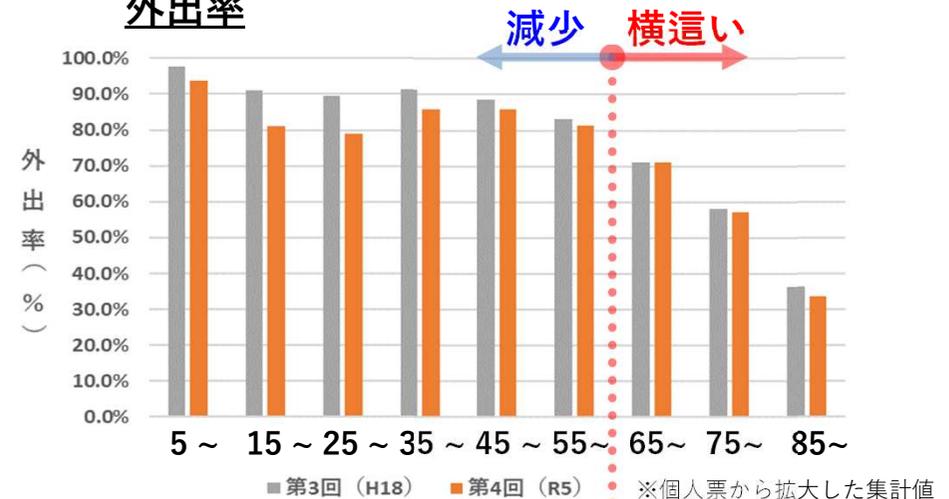
年齢層別人口



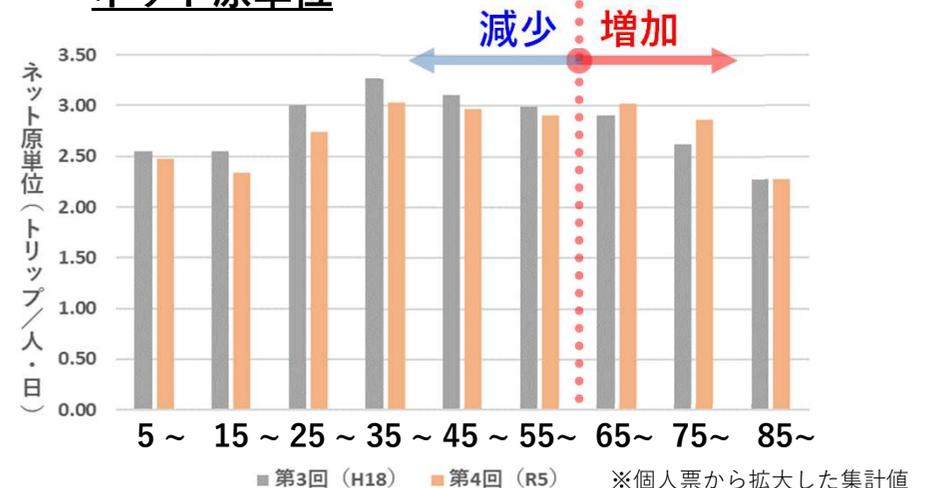
トリップ数



外出率



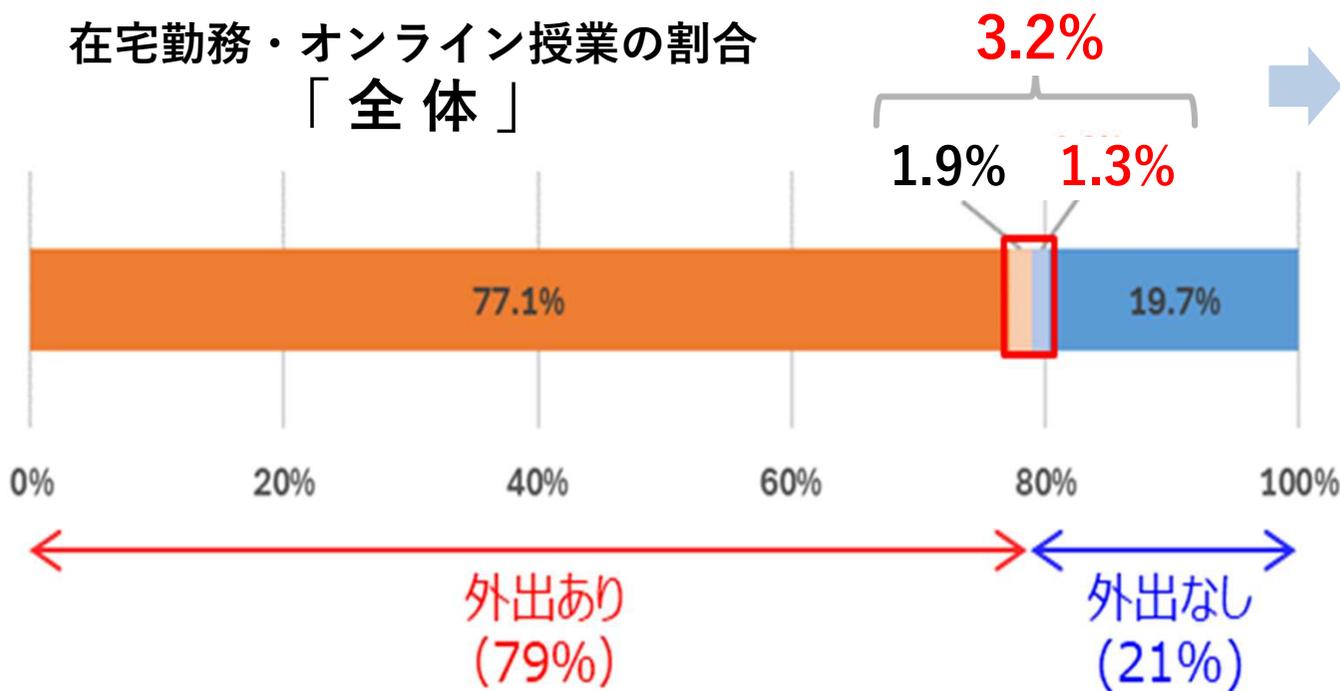
ネット原単位



在宅勤務・オンライン授業の動向

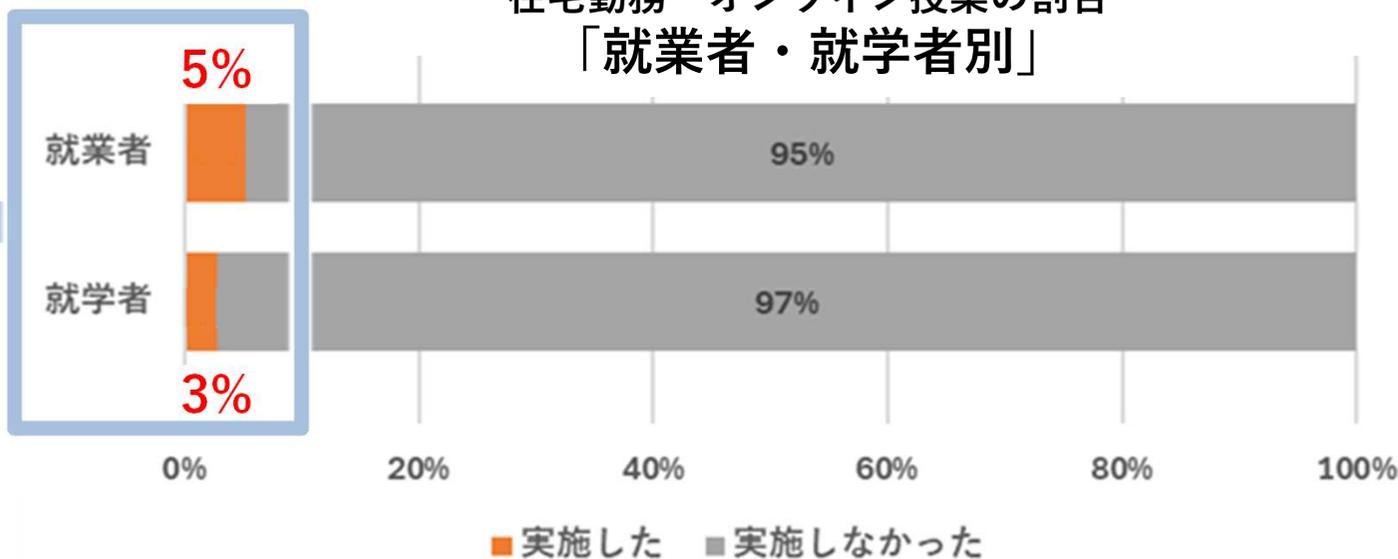


在宅勤務・オンライン授業の割合
「全体」



- **調査日に、在宅勤務・オンライン授業を実施した割合は全体の3.2%。**
- そのうち、在宅勤務・オンライン授業が**原因で外出しなかった人は全体の1.3%。**

在宅勤務・オンライン授業の割合
「就業者・就学者別」



- 就業者・就学者別にみると**就業者の5%、就学者の3%**が、在宅勤務・オンライン授業を実施。

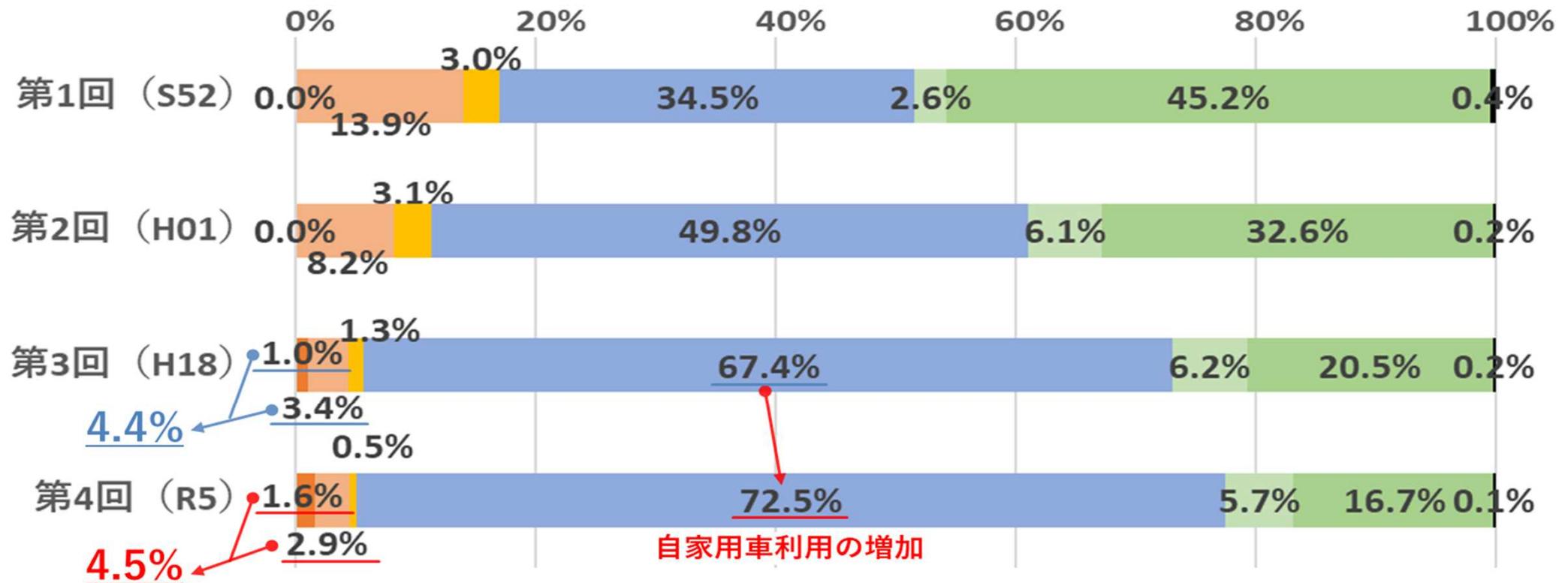
代表交通手段分担率



- 自家用車の分担率は**72.5%**と、前回調査の67.4%から**増加**しており、**自家用車依存のさらなる進展**が伺える。
- 「バス+モルール」の分担率は**4.5%**で、前回調査の4.4%から**大きな変化はなかった**。
一方、モルールの分担率は**1.6%**、バスの分担率は**2.9%**となり、公共交通機関毎による**変化**が見られた。

代表交通手段分担率

※個人票から拡大した集計値
※不明は除く

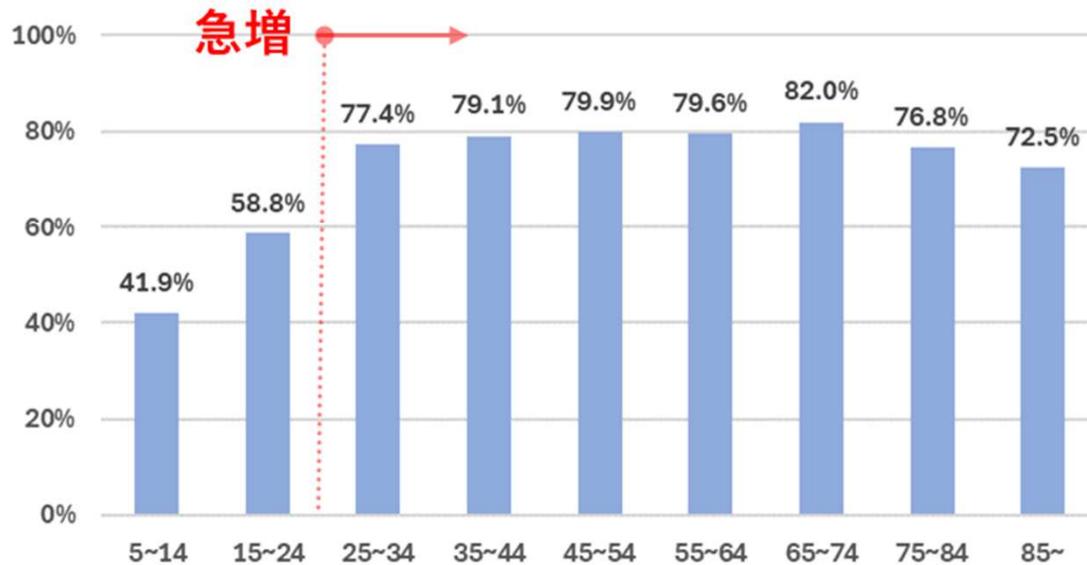


【前回比較】

第4回 - 第3回 ▶



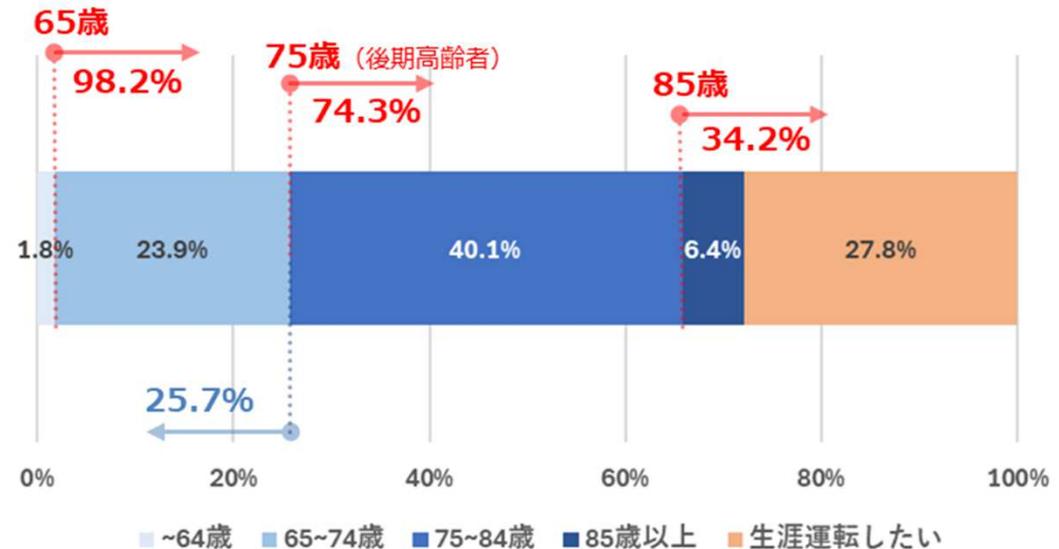
年齢階層別自動車分担率 (送迎含む)



※個人票から拡大した集計値
※不明は除く

➤ 自動車分担率を年齢階層別にみると、**25歳以上の成人全体について、移動における自動車依存が高い**状況。

自動車の運転意向 (何歳まで運転したいか)



- 免許保有者に対する自動車の運転意向からは、**多数の方が可能な限り運転を続けたい**と考えている状況が伺える。
- 一方、**75歳（後期高齢者）以降、運転を辞めたい**と考えている方も**25.7%**いる。

※世帯票から拡大した集計値
※不明は除く